

70周年記念のイベントに、参加しませんか？

大分県福祉会の70周年を記念して始まったプロジェクト。担当職員で話すなかで、「そもそも職員が各施設の特徴や魅力を知らない」という話になりました。そこで、まずはお互いを知るために、11月にオープンキャンパスのようなイベントを開催します。ほかの施設を見学し、自分の施設を紹介するために魅力や強みを再確認することで、職員同士の交流や理解促進につなげたいと思っています。ぜひご参加ください。



TOPICS

森の木 何の味で食べようかな？

大分キャピタルロータリークラブさんより、餅つき機をいただきました。毎月8日を「もちの日」とし、おやつ時間に食べています。子どもたちと一緒に餅を丸め、きな粉やあんこなど思い思いに楽しめます。中には納豆なんて変わり種も!?



別府厚生館 月のはじめの金曜日は…

毎月第一金曜日は「常会」というお母さん方の定例会の日。その月のお知らせなど、いろいろな話題を共有する大切な時間です。その間、未就学児は職員が保育し、みんなで仲良く過ごしています。最近、新生児のお友達が仲間に加わりました!



明野いのみ保育園 心と心を繋ぐわらべうた遊び

表情が読み取りにくいマスク生活が続くなか、子どもたちとわらべうた『ちょちよちあわわ』を通して心を通わせています。優しい声やゆっくりとした雰囲気です。心掛けています。「次はこれして!」と表情や仕草で訴える様子に癒されます。



清明あけぼの学園 夏を感じた1泊2日

ここ数年お世話になっている、九重にある「カナディアンヴィレッジ」でキャンプをしました。シャボン玉で遊んだり、スイカ割りをしたり、夕食はバーベキューでお腹いっぱいになるまで食べたり、夏の素敵な思い出ができました。



うえの園 リサイクル頑張りました!

毎月頑張っているリサイクル活動。空き缶を洗って水分を拭き取り、缶をスチール缶とアルミ缶に仕分けします。近くの古鉄商店に引き取ってもらい得た収益で、おやつとジュースを買って食べました。みんな嬉しそうに笑顔で食べていました。



イチローの部屋 第6回 ハードルの低い趣味のすすめ

私は個人面談でよく趣味があるか聞きます。「専門的な知識はない」とか「人前で披露できるレベルじゃないんです」とか、みんなハードルが高くてびっくりします。でも、学生時代の部活や好きなことを聞くと、楽器演奏や映画鑑賞、カフェめぐり、推し活、私からすれば「それ趣味だよ!」と言いたくなる話をたくさん聞けます。人を相手にする福祉の仕事は、思い通りにならないことやモヤモヤすることも多々あると思います。そんなときはやっぱりオンオフの切り替えが大切。思い詰めた状態から抜け出すのに、趣味は一役買ってくれます。私は多趣味ですが広く浅いタイプです。プラモデル、

漫画、CD(サザン、ベビーメタル、マキシマム ザ ホルモンはかなり深掘しました)、アートも好きですが深い知識はありません。5~10年の周期で飽きたり、ハマったりしています。古い車も趣味です。不調が出ないか五感を研ぎ澄ますので、運転中は思考が全てそちらに持っていかれます。精神的にも肉体的にも疲労して逆効果のようですが、それがすごく切替になるんです。運転した当日は、不思議とぐっすり眠ることができました。あまり難しく考えず、なんとなくやってみたくて意外とあると思います。ぜひ何か見つけてみてください。

社会福祉法人大分県福祉会社内報ぎゅつ第6号
発行日 2022年9月15日 / 発行元 社会福祉法人大分県福祉会 / 制作担当者 藤岡大樹、安部浩、米野智恵、宮成俊佑、後藤美佳、岩崎祐貴、城戸海咲妃、浅利桃子、江田望、重田綾、若林歌織 / 編集 竹尾真由美 / デザイン UMN/designfarm
連絡先 syanahou.or@gmail.com

うれしい報告

先日、5年前に森の木を卒園した女の子が来園し、交際を続けていた相手との結婚が決まったことを報告してくれました。在園時は無断外泊、飲(…以下自主規制)と、問題行動も多く、当時のユニット職員含め苦労した思い出もありますが、それも今では良い思い出です。在園当時と変わらぬ笑顔で嬉しそうに話をする様子を見て、こちらまで嬉しくなりました。職員一同、彼女が人生の新たな転換期を迎えたことを祝福するとともに、2人の今後の幸せを祈っています。

森の木・主任 ほんだ かずや 本田 和也

vol.06
2022.09

ぎゅつ



特集

森の木

子どもたちの居場所づくりと、退園後の支援

子どもたちの居場所づくりと、退園後の支援

今回は、うえの園の社内報制作メンバーが森の木へ取材に行ってきました。職員の方のお話からは、子どもたちとのつながりを一番大切にしていることがうかがえました。

関わり続ければ応えてくれる

児童養護施設 森の木は、子どもたちにさまざまな経験をしてもらいながら、基本的な生活スキルを身につけられるように支援します。現在、本園に4歳から18歳の22名、地域小規模施設に9歳から17歳の9名が入所しており、児童指導員、職業指導員、保育士、看護師など、57名の職員がいます。施設長の安藤 覚さんは「県内の児童養護施設の中でも職員数が多く手厚い支援ができていない方ではないか。児童家庭支援センターの設置や児童養護の多機能化に向けていち早く取り組んでいるのは森の木の強み」と言います。子どもたちの入所した背景や事情はさまざまで、信頼関係を築くのが大変なこともあるそうです。「それでも誠意をもって関わり続ければ応えてくれる」と男子ユニットを担当する保育士の菅井 チヨさん。表情や目線にいつもと違う様子があれば、少し時間を置いて話したり、ゆっくり話したりして工夫します。子どもが素



小さな「できること」を増やしていきます



子どもと余暇を楽しむ様子。色々な話をする大切な時間です

直になってくれたり、いろんな表情を見せてくれることがやりがいだそうです。

目指すのは「第二の故郷」

卒園後の支援も課題の1つ。高校生以上は、ソーシャルスキルトレーニングとして、銀行や郵便局などへ出かけて実際の利用方法を学びます。職員は同行しますが、基本的には見守るだけ。卒園後に手続きや支払いなどをするための予行練習、森の木以外の場所や人とながる機会、コミュニケーション能力の向上を目的としています。また、卒園後も定期的に連絡をとり、必要ときは訪問もします。職業指導員の豎山 康代さんは、誕生日にお祝いの連絡をしたり、手助けが必要ときには当時の担当職員と一緒にフォローしています。入所しているときから、「森の木が故郷のように思い浮かび、頼れる存在に



森の木の強みを話す施設長の安藤さん

なれるように」と、意識しながら子どもたちと接しているそうです。日々の支援における関わりだけでなく、本質的に子どもたちが自分の力で暮らしていくために必要なことを考えた支援内容や関係性のあり方が、興味深く、とても素敵だと感じました。

(取材 うえの園 宮成 俊佑)

----- スタッフ紹介 -----



職業指導員
たてやま やすよ
豎山 康代さん
家庭菜園で作った野菜で料理するのが好きです。



保育士
すがい ちよ
菅井 チヨさん
おいしい物を食べるのが好きで、今は蕎麦とミールスにはまっています。

どんな仕事？ 職業指導員


入所する子どもの自立訓練計画や継続支援計画の作成をおこないます。各ユニットの会議にも参加し、多様な職種から意見を聞いて、各計画作成にあたります。

子どもたちと職員のある1日

6:30	7:30	9:15	10:00	13:00	15:00	17:00	18:30	20:30	21:00	23:00
起床の声かけ、朝食支援(職員が作る日もあり)	子どもたち登校、洗濯・清掃など	全体引き継ぎ	ユニット会議、職員会議など(各月1回)	ユニット引き継ぎ、おやつ準備、環境整備	子どもたち帰園、おやつ、学習支援、子どもたちとの遊び	入浴支援、生活に関する練習や支援、夕食準備	入浴	就寝(幼児)	学習支援や子どもたちとの遊び	完全消灯

マイブーム 教えてください!

教えてくれる人



私のマイブームは…
韓国ドラマです!

滝尾 保育園
つちや
土谷 まさみさん

それまでは韓国ドラマに全く興味がなかったのですが、保育園の先輩から『太陽の末裔』を勧められて観てみました。すると、さまざまな表情をみせる韓国人俳優の魅力に、すっかりはまってしまいました。以前は、テレビでも再放送があり、録画して夜ゆっくりと見るのが大好きでした。現在も韓国ドラマをよく見るので、ほかにおすすめがあったらぜひ、教えてほしいです。そして、ぜひ『太陽の末裔』を観てください!

韓国ドラマの豆知識



『太陽の末裔』のロケ地のひとつであるザキントス島のナヴァイオビーチは、真っ白な砂浜とコバルトブルーの海の色が特徴。また、ジブリアニメ『紅の豚』の舞台ともなった場所でもあります。

ナヴァイオビーチ
画像引用元: Wikipedia https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Panagiotis_wreck.jpg

味なランチ レポート

★人気のカルボナーラ★

自家製ベーコンとこだわりの卵を使用
パスタはお客の好みで作れます🍝



Cucina Felice TAKU のパスタランチ

オアシスタワーホテルから竹町へ向かう商店街入口にあり、外観がおしゃれで店内も素敵な空間です。お店の雰囲気が良く、落ち着いてゆっくり過ごせます。ランチは、メインのパスタのほかにパンやライス、スープやドルチェを選んで組み合わせることができ、どの料理も1つひとつが丁寧で、心まで満たされます。みなさんもおいしい料理と一緒に、大切な時間を過ごしてみたいかがでしょうか?

レポーター



明野しいのみ保育園
なす ゆみ
奈須 由美さん

だいふく文庫

第10回の「あの子に会いたい」

もったいないばあさん かわをゆく

作・真珠 まりこ
出版社: 講談社

えとう よしこ
選・うえの園 江藤 淑子さん

川にゴミをポイ捨てするなんて「もったいない!」からお話が始まります。水のつながりは、命のつながり。水の大切さ、海洋汚染、SDGsについて考えさせられる内容です。ゴミをポイ捨てしてはいけないことは当たり前のことだが、当たり前が身につけていない大人もいます。ちょっとだけ、地球のことを考えてみませんか? セーのでみんなが始めたら、きっと違う未来がやってくる!

お気に入りの一文
「ひとりじゃなくて みんなで きれいに すれば ええんじやよ」

次は、明野しいのみ保育園 伊藤 麻衣子さんです お楽しみに!

あの子に会いたい

真面目で責任感あふれる台楓さんの「今」に密着!



森の木
よしだ らん
吉田 台楓さん



森の木での思い出はたくさんあります。勉強とバイトの両立で大変でしたが、そんななかでも、行事が好きでした。キャンプや旅行にユニットのみんなで行ったことが一番の思い出です。卒園後は農大に入りました。現在は卒業し、畜産(若鶏)の仕事をしています。細かい作業が必要になるので、緊張感と責任のある仕事です。小さいころから動物と過ごし、大好きなので、これからも動物と関わる仕事を続けていきたいです。